

地域に比較して著しい鈍化状況を示している。

いわき地域においては、昭和42年度における生徒数の減少の進行が緩慢で、その後における生徒数の減少傾向もゆるい鈍化状況を示している。

南会津地域においては、県北、いわきの各地域に次いで生徒数の減少傾向が鈍化している。

しかし、県中、県南、会津、相双の各地域にあっては、生徒数の減少傾向がいまだ鈍化状況を示していない(図2-3-3)。

従って、今後は、近い将来において生徒数が横ばいとなる地域と、生徒数の減少が当分の間続く地域に対する教育諸条件の整備方策について検討する必要がある。

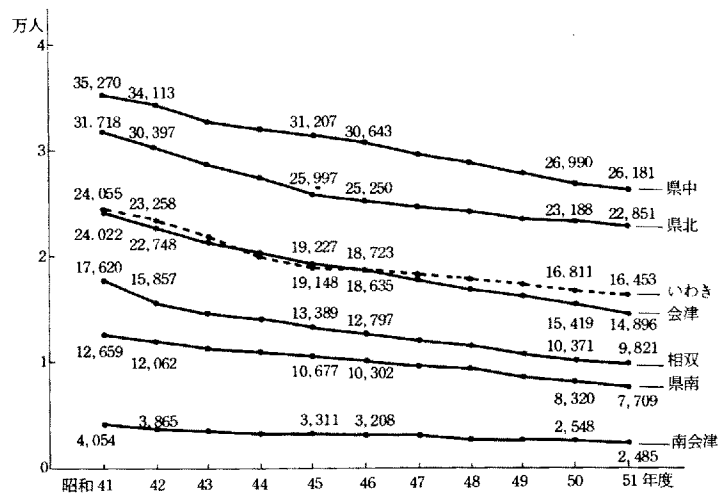
(3) へき地の生徒数

へき地指定地域の1級から5級までの生徒数の状況をその合計からみると、昭和41年度において、6,872人であったものが、「へき地教育振興法施行規則の一部改正」

(昭47)により昭和47年度に一時増加し、昭和51年度には4,379人となり、この10年間に2,493人の減となっている(表2-3-1)。

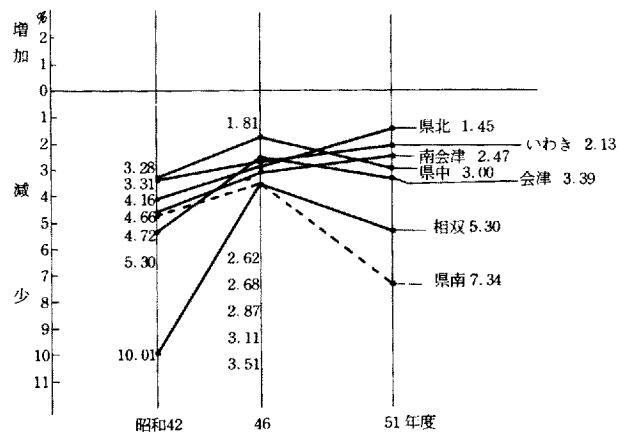
また、級別に生徒数の減少状況を昭和42年度、昭和46年度、昭和51年度における前年度生徒数に対する減少生徒数の割合の比較からみると、昭和42年度において昭和

図2-3-2 地域別生徒数の推移



注: 「学校統計要覧」(昭41~昭51)による。

図2-3-3 前年度生徒数に対する減少生徒数の割合



注: n年度の割合は{(n-1年度の生徒数)-(n年度の生徒数)}÷(n-1年度の生徒数)×100による。

表2-3-1 へき地(1級から5級)の生徒数 (単位:人)

区分	年度	41	42	45	46	50	51
1 級		6,431	6,390	5,350	5,101	4,252	4,039
2 級		202	190	151	141	279	260
3 級		156	150	51	47	89	80
4 級		69	76	77	67	5	-
5 級		14	17	5	5	-	-
計		6,872	6,823	5,634	5,361	4,625	4,379

注: 「学校統計要覧」(昭41,昭42,昭45,昭46,昭50,昭51)による。